

令和 7 年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	谷田第3自転車駐車場				
所在地	生駒市谷田町381番地1				
指定管理者名	株式会社アーキエムズ	指定期間	開始日	令和 6 年 10 月 1 日	
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 17 年 3 月 31 日	
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 11 年のうち 2 年目		
設置目的	道路の効用保持や道路交通の円滑化を図り、自転車等利用者の利便に資する。				
主な実施事業等	施設の適正な運営に関する業務、施設の利用の拒否に関する業務、利用料金の徴収に関する業務、利用料金の減免・還付に関する業務、施設の維持管理に関する業務等				

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
谷田第3自転車駐車場	円	3,921,600	3,227,300	651.7%	市民への認知・浸透が進んだため 昨年度は1～3月実績のため

3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考) 前年度実績
収入計	A	3,921,600	3,227,300	495,200
指定管理料		0	0	0
利用料金収入	C	3,921,600	3,227,300	495,200
自主事業収入		0	0	0
その他		0	0	0
支出計	B	4,540,526	3,389,294	616,370
指定事業費		4,540,526	3,389,294	616,370
うち人件費	D	1,437,801	1,090,159	184,800
うち再委託料	E	900,881	528,292	0
自主事業費		0	0	0
事業収支	A-B	-618,926	-161,994	-121,170
利用料金比率	C/A	100.0%	100.0%	100.0%
人件費比率	D/B	31.7%	32.2%	30.0%
再委託費比率	E/B	19.8%	15.6%	0.0%
補足説明(必要に応じて記入)				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他(コールセンターでの聞き取り)
実施結果	意見内容等		対応実績等

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	
本施設の設置目的や特性を踏まえ、事業計画に基づき適切な管理運営を実施しました。また、利用状況の分析や利用者ニーズの把握に努め、サービスの向上および利便性の改善を推進しました。	
市の評価	
事業計画に則った管理運営を通じて、駅周辺の違法駐輪の抑制に寄与し、設置目的である道路の効用保持にも繋がっていると考えています。	
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	
すべての市民が公平かつ安心して利用できるよう、公平性を重視した管理運営に努めました。また、利用者の決定にあたっては、特定の利用者に偏ることなく平等な利用機会の確保を図りました。	
市の評価	
24時間営業のため、いつでも駐輪できる施設として利用者へサービス提供できています。	
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	
利用者のニーズやご意見を的確に把握し、日々の管理運営に迅速に反映させることで、利便性の向上と満足度の高いサービスの提供に努めました。	
市の評価	
利用者は、駐輪場から同社のコールセンター（24時間365日営業）に問い合わせることができるため、安心して利用できる環境が整っています。	
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
本施設では、照明器具を省エネルギー性の高いLED照明へ更新し、光熱費の削減および効率的な施設運営に努めました。	
市の評価	
物価高騰により光熱費等も値上がりしているため、引き続き経費削減に向けた取り組みを期待します。	
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
駐輪配置や駐輪台数の見直しを行い、利用しやすい環境を整備することで、対前年比で利用者の増加および利用料金収入の増加につなげました。	
市の評価	
前年度実績は1～3月と短期間ではありますが、24時間営業やキャッシュレス決済を導入し、利用者にとって利便性が高い施設運営ができたことで、対前年度で収入増加に繋がったものと考えられます。	
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	
完全機械化を継続し、安定した管理運営に努めました。	
市の評価	
大きなトラブルや、利用者からの問い合わせ等もほとんどなかったことから、適正な管理が実施できているものと考えています。	
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	
今年度は他施設の一時的利用における完全機械化を最優先としたため、自主事業の実施には至りませんでした。	
市の評価	
上記のとおり、今年度は自主事業の実施はありませんでしたので、来年度以降の実施に期待します。	
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	
スタッフ不在の時間帯においても、警備会社と24時間365日対応のコールセンターが連携し、必要に応じて現場へ迅速に駆けつける体制を構築しております。	
市の評価	
24時間365日対応のコールセンターや、駐輪場スタッフ・提携警備会社等による対応ができる体制により、トラブルなく運営できているものと考えています。	
サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	

	施設の無人化や一時利用の完全機械化を導入・定着させることで、人員配置の状況に左右されない持続可能で安定したサービス提供体制を構築しました。
	市の評価
	指定期間が11年と長期にわたるため、安定的にサービス提供可能な体制を構築できたことは評価できるものと考え

6 指定管理者の財務の状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
資産	9,035,634,519	9,994,226,953	
流動資産	6,093,345,093	6,987,462,727	
固定資産	2,942,289,426	3,006,764,226	
負債	8,671,304,122	9,389,788,447	
流動負債	6,407,541,792	7,573,333,713	
固定負債	2,263,762,330	1,816,454,734	
純資産	364,330,397	604,438,506	
資本金	72,500,000	72,500,000	
売上高	5,680,883,150	5,772,499,489	
経常利益	12,184,557	360,174,721	

※10月決算のため未計上

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
自己資本比率 純資産/資産×100	4.0%	6.0%	
負債比率 (流動負債＋固定負債)/純資産×100	2380.1%	1553.5%	
固定比率 固定資産/純資産×100	807.6%	497.4%	
流動比率 流動資産/流動負債×100	95.1%	92.3%	
固定長期適合率 固定資産/(純資産＋固定負債)×100	112.0%	124.2%	
総資産回転率 売上高/資産×100	62.9%	57.8%	
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	0.1%	3.6%	

※10月決算のため未計上

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
事業計画に基づき、施設の適正かつ効率的な管理運営に努めるとともに、利用者ニーズを踏まえたサービス向上や利用環境の改善に取り組みました。また、適正な人員配置や安全・安心な管理体制の確保、設備のLED化による経費削減など、効率的な施設運営を推進しました。これらの取組により、利用者の利便性向上と施設の有効活用を図り、設置目的に沿った管理運営を実施できたものと評価しております。
市の評価
利用者の利便性向上と施設の有効活用に向けて、指定管理者としてしっかりと取り組みを進めていただいています。1年目に引き続き、毎年確実な業務改善を進めることで、最終的に大きな成果を生むことを期待します。